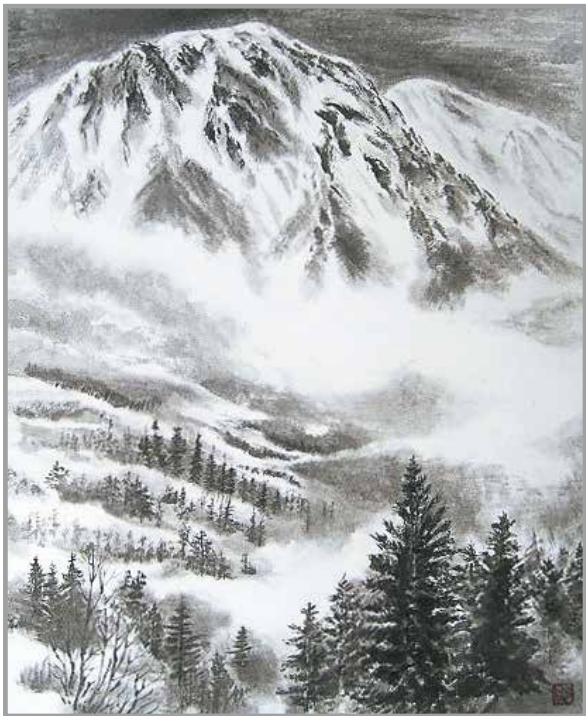




立花町白木  
平 久子

水墨画を月二回、立花町公民館で橋爪先生に指導していただいています。先生は各地の美術展で入賞され、絵も沢山描かれています。「書は見るもの、絵は読むもの」と聞いた事があります。四苦八苦して描いた時は下手でも続けて良かったと思います。「恥をかきなさい」と言われ、尻込みしながら投稿しました。墨で描く楽しさや、絵から感動が伝われば最高ですが、7月21日～26日、おりなす一階回廊で八女市合同水墨画展があり、先生方と四サークル全員出品の予定です。教室への参加も待っています。

水墨画を月二回、立花町公民館で橋爪先生に指導していただいています。先生は各地の美術展で入賞され、絵も沢山描かれています。「書は見るもの、絵は読むもの」と聞いた事があります。四苦八苦して描いた時は下手でも続けて良かったと思います。「恥をかきなさい」と言われ、尻込みしながら投稿しました。墨で描く楽しさや、絵から感動が伝われば最高ですが、7月21日～26日、おりなす一階回廊で八女市合同水墨画展があり、先生方と四サークル全員出品の予定です。教室への参加も待っています。

### 矢部川源流・杉の里の四季 ⑧ フタリシズカ(二人静)[センリョウ科]



フタリシズカは能楽「二人静」の静御前とその亡霊の舞姿にたとえたもの。ヒトリシズカと対を成す。釈迦・御前岳登山道の藪影の暗い所に生育している。花期は4～6月。花には花弁も萼もなく、3個の雄しべが丸く子房を抱いている。

黒木町 松尾 重根

### 八女茶で健康 第34回 冷たくておいしい茶を楽しもう

暑い季節となってきました。最近、冷やして飲む緑茶の話題が多く出ています。お茶屋さんでも、「水出し緑茶」、「冷茶用緑茶」、「アイスティ用緑茶」等種類を増やし、ティーパック入りで手軽に楽しめるようにされています。

普段、茶袋や茶缶に入っている家庭の緑茶で冷茶を作ってみてはいかがでしょうか。

①冷たい水500mlをティポット等に注ぎます。

②お茶15gをパックに入れます。パックのサイズは、110mm×110mm程度のものが売ってあります。このサイズの1袋パックにお茶を入れる量は、最大20gが限界だと思っています。20gより多い場合は、パックがパンパンになり、うまく出せない時があります。

③お茶の入ったパックをティポットに入れ、スプーンなどでティーバックを押さえお茶の味と香り、水色を出してください。

④冷蔵庫に入れ、1時間程度浸出します。

出にくい時はもう少し長く置か、少しかき混ぜます。

⑤また、一晩そのまま水に浸したままでもおいしく飲めます。

ペットボトルのお茶は、おおむね、この作り方より3分の1ほど茶の使用量が少なめに作られますが、家庭で作る場合は、少し濃いめで作ります。

家庭用冷蔵庫で、いつもおいしい冷茶を楽しんでみてはいかがでしょうか。

福岡県茶生産組合連合会事務局長 仁田原 寿一



市販のパック (だしパック)



美味しい冷茶

### 八女筑後看護専門学校の卵 ⑦

今年は2年ぶりに准看護科、看護科の卒業生全員がともに准看護師試験や看護師国家試験に合格できました。試験は「ミズモノ」と言いますが、病気になったり、その日の調子が良くなかったりと運にも左右されます。2年間一生懸命に頑張った成果が、僅か一日で決まるので試験とは怖いものです。全員合格は中々簡単にはいかないことですが、今年は教職員や受験者にとっても嬉しい春を迎えることができました。

学生は試験を受験し卒業していきますが、合格発表までの約1か月は不安な日々を送ります。本人たちの努力は勿論のこと、周りの支えあつてのことですが、この日の喜びは経験した者でないとわからないことです。さて、今年も准看護師、看護

師資格の取得を目指して81名の学生が入学してきました。迎える教職員も、「今年はどんな学生なのか」楽しみで、学生を前にすると笑顔が自然にこぼれます。新入生の年齢層は10代から40代と幅が広く、当然一人ひとりの経験値が違い、思い思いに描く看護師像も様々です。

准看護科では春から実習に出る数カ月の間、医療職とはどんなものであるかの基本が求められる時期でもあります。医療の現場では1分1秒を争うこともありますから時間一つとっても早めの行動、的確な行動は日頃から厳しく求められることです。さらに性格や気性、人柄は患者さんに親しまれる看護職として欠かせないものです。

看護科では、准看護師の資格の上により専門的なことが求められるので、学生の気合いも違います。

何事も最初が肝心と言われますので、優しく接しようと思っ



副学校長 高治 智美



### クラッシー文芸

#### ■筑後俳句会

山峡の空のせましと鯉のぼり  
雨や風耐え抜きしかと麦は穂に  
源平の地に琵琶の音や桜散る  
花筏乙女の想ひ浮かべつつ  
春愁や平家女官に心寄す  
桜散る蘇我の馬子の石舞台  
百花繚乱数多の蜂が乱舞する  
佐保姫の興入れ百花総立ちに

浅田つき子  
井口登美子  
猪田時恵  
有働国子  
江崎かをり  
大鶴恵美子  
貝田ちづみ  
城戸真子

#### ■上陽町陽泉俳句会

遠ざかりなほ聞こえる卒業歌  
つきまとふ貧と文学啄木忌  
金色の独楽舞ふごとく竹の秋  
雨粒に苗物札の打たれをり  
池の面の花筏避けあめんぼう  
白糸草右に左に拗ねて咲く  
落葉敷くくぬぎ林の新樹光

吉泉 守峰  
荒川ミヤ子  
倉ノ下和代  
大坪清香  
中村 境子  
大坪 延子  
城後 正子

#### ■立花短歌会

早やばやとひばれ迎えて宮参り孫「幸亮」よ  
健康に育て  
乗りかえの時刻表手に旅に出るハウステンボ  
ス満開の花  
だらだらと時間を費やすばかりなり森・加計  
審議は遅遅と進まず  
学び舎は時の流れに消え去りぬただセンダンの大樹残して

樋口 愛子  
中島 睦美  
田中たつじ  
野中 裕政  
鶴 邦子  
井上 精  
鶴 隆治郎  
櫻木 敦子  
松尾ミサキ  
橋本 泰州